

# エンジン多機能園芸機 HG-TKHTY44F-6A-T

取扱説明書 P.26 にあやまりがありました。  
お詫びとともに訂正いたします。

誤

## ●刈刃ユニットの点検整備

刈刃のひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常があるときは新品と交換してください。

ギヤケースに、50時間毎にグリスの補充を行います。

ギヤケース点検手順

- 1.グリス(シェルアルバニヤNo2又は相当品)、注入器を準備してください。
- 2.グリスニップルからグリスを注入してください。



正

## ●刈刃ユニットの点検整備

刈刃のひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常があるときは新品と交換してください。

ギヤケースに、グリスは充填されていますが、50時間毎にグリスの補充を行います。

ギヤケース点検手順

- 1.ギヤケースをパイプから外します。
- 2.六角ボルトを市販のグリスニップル(頭径 6.6 mm、M6)に交換します。
- 3.グリス(シェルアルバニヤNo2又は相当品)を注入する場合は、市販の注入器をご使用ください。
- 4.グリスニップルからグリスを注入し、ギヤケース内を覗き込み、古い(変色した)グリスが押し出されるまで注入してください。  
変色したグリスは取除きます。外したパイプ内のグリスも取除きます。  
※市販のパーツクリーナー等を吹き付けて拭取るときれいに取除けます。

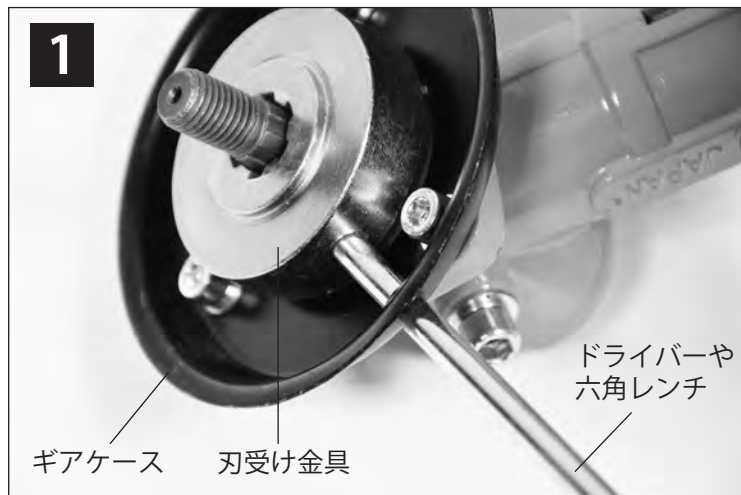


覗いて古いグリスを取除く

# HG-TKHTY44F-6A-T 多機能園芸機

## 刈刃 3 枚刃の取り付け方

まず、駆動軸が回らないように、付属のドライバーや六角レンチをギアケースの穴と刃受け金具の穴に挿し込み、取り付け作業を行ってください。



駆動軸が回らないように固定して作業を行います。



刈刃 3 枚刃を挿し込みます。



刃押さえ金具を挿し込みます。(凸部が上)



ナットカバーを挿し込みます。



取り付けナットをしっかりと締めます。(反時計回り)

## ナイロンカッターの取り付け方

駆動軸が回らないように、付属のドライバーや六角レンチをギアケースの穴と刃受け金具の穴に挿し込んだ状態(刈刃 3 枚刃の取り付け方 **1** と同じ)で、ナイロンカッターのネジ部を駆動軸にねじ込み、しっかりと締めてください。(反時計回り)

注) しっかりと締付けないと、エンジン停止時に反動で外れてしまい大変危険です。



## ユニットパイプの外し方

丸部分のロックピンを深く押し込み、ユニットパイプを少し回しながら引き抜くことでパイプを容易に外すことができます。(潤滑剤塗布推奨)

注) 押し込みが足りないと外せません。

注) パイプにキズが付くと脱着が困難になります。パイプを連結する際は傷を付けないようご注意ください。



ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ハイガー産業株式会社 アフターサービス課 TEL.0276-55-2275 メール support@haige.jp

# HG-TKHTY44F-6A-1 / HG-900WETE 多機能園芸機操作の注意点

重要



間違った操作をすると、故障や思わぬ事故や怪我が発生する可能性があります。

※誤った操作をし故障した場合は、保証対象外です。ご注意ください。

## ヘッジトリマで垣根の剪定する際太い枝は避ける 太い枝を切断するとギアの故障の原因になります！



垣根の太い枝にヘッジトリマの刃を当てたり、挟まないようご注意ください。

太い枝は、事前に枝切りバサミ等で剪定をしてください。



樹木の太い枝にヘッジトリマの刃を当てたり、挟まないようご注意ください。

太い枝は、チェーンソーで剪定してください。

## 刈刃を樹木や硬いものに当てない

## 硬いものに当てるとギアの故障の原因になります！



樹木などに当てないでください。  
ナイロンカッターをご使用ください。



縁石やレンガ等硬いものに当てないでください。  
ナイロンカッターをご使用ください。

## 電動多機能園芸機 HG-900WETE

本製品は、欧州の安全規格に適合した停止時にブレーキがかかるブラシモーターを採用しています。そのためスイッチから手を放すとブレーキがかかり急停止します。その際、本体内部に火花が生じますが、異常ではありません。

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

ハイガー産業株式会社 アフターサービス課 TEL.0276-55-2275 メール support@haige.jp